



那須塩原市 議会だより

創刊第1号

平成17年2月7日発行

栃木県那須塩原市
議会だより編集特別委員会

議会事務局

TEL.0287-62-7181



新市議会発足に伴う臨時議会が開催 議長に人見 菊一氏、副議長に磯 紀則氏が就任

正副議長 就任あいさつ



期待と希望に満ちた二〇〇五年の幕明けは、同時に那須塩原市としての幕開けでもあります。

「信頼と協調」に基づき、黒磯市、西那須野町、塩原町が一体となつて、住民の皆様の理解を得ながら、新しい年と時を同じくして、新しい市が誕生しましたことは、この上ない喜びであり、心よりお祝いを申し上げます。

私たちは、去る一月十二日に開催されました那須塩原市議会第一回臨時会におきまして、議員各位のご推挙をいただき、議長並びに副議長に就任いたしました。身に余る光栄と存じますとともに、その責任の重大さを痛感している次第であります。

私たちは、これまで以上に市民の皆様に対し、公平、公正を欠かさず誠心誠意努力し、本市の発展と市民福祉の推進に邁進する所存であります。

那須塩原市が誕生し、人口十一万五千人の県内では四番目に大きな市が生まれました。この「人と自然がふれあうやすらぎのまち那須塩原」が未来に向け、全ての市民にとって、夢と希望に満ち溢れるまちとなるよう、私ども議会といたしましても、市民の皆様の声を傾聴し、なお一層努力してまいりたいと考えておりますので、特段のご支援とご協力をお願いいたします。就任のごあいさつといたします。



副委員長
おかもと えいじ
岡本 栄次



委員長
まつばら いさむ
松原 勇

新時代を担う那須塩原市の議員として、市民の代表である自覚と責務を忘れず、市の発展と市民の生活向上のために議員活動に徹します。

新市誕生の意義ある元年に当たり、那須塩原市が名実ともに県北の中核都市として、繁栄発展するため、最善を尽くす決意であります。

総務教育常任委員会



冒頭あいさつをする平山喜助市長職務執行者



すずき かずみ
鈴木 一美



むろい しゅんご
室井 俊吾

那須塩原市の自然と環境を守り福祉を重点施策とし、商工業を優先し人と自然のふれ合う市政運営に努力する。

働く所のある那須塩原市、安全で便利な道路整備、少子化に対応した子育て支援、理想的な教育環境、高齢化対策などに努力します。

第一回臨時議会

一月十二日、那須塩原市議会が発足して初めての本会議となる臨時会が開催されました。

塩澤昭男臨時議長の進行のもと、那須塩原市議会の議長を決める選挙が行われ、初代議長に人見菊一議員を選出。議長交代後の副議長選挙では、磯紀則議員が選出されました。

今臨時会では、那須塩原市の事務所の位置を定める条例ほか二百一件の条例の制定に関する専決処分や一月から三月までの暫定予算など、提案されたすべての案件を承認・可決。このほか、会議規則や委員会条例など議会の運営及び組織に関する条例・規則等の制定や常任委員会委員の選任等が行われました。

議員の紹介

那須塩原市議会を構成する六十一名の議員を紹介します。(併せて『那須塩原市議員としての抱負』を掲載しました。)



きみしま ゆきお
君島 行雄

人口九千人から十一万五千
人都市として出発となりま
す。観光地塩原温泉存在感
の向上と山間部に気配りを
する行政都市をめざしたい。



ごみ ぶち かおる
五味 潤 薫

新市のスタートからかかわ
れる事の幸せと重責を感じ
ております。自治力の問わ
れることになりましたが、市
民全員で頑張りましょう。



うえき ひろゆき
植木 弘行

限られた財源の有効活用と
経費の効率化に視点を置き、
地域間のバランスの取れた
発展と安全で暮らし易い新
市づくりに努力したい。



やまもと
山本 はるひ

生活者の立場で、地域の声
を議会・行政に届けます。
限られた予算の中で、バラ
ンスの良いまちづくりを目
指して、力を尽くします。



たなか ますこと
田中 恂

「一穂青灯」、埋没しそうな
小さな声を灯火を当て、小
さな声を少しづつ集め、小
さな民主主義の花を、幾つ
も幾つも育てます。



副委員長
はせべ みのお
長谷部 幹男

『那須塩原市』と言う新しい名
前のイメージとして浮かぶ
のは、なんといつても、自
然豊かな緑と雄大な山だ、
これを後世に永く伝えたい。



きみしま ゆきみ
君島 幸三

新たな歴史に向かい、
産業観光、社会資本整備に
向け、頑張ります。



ふくだ こうじ
福田 幸治

開拓ルネッサンス!!
先人の偉業とその精神を引
継ぎ自然との共生で県北の
拠点にしよう。新エネルギー
| 利用日本一を目指せ!!



そうま つかさ
相馬 司

二十一世紀新時代、那須塩
原市行政・地域行政・生活
行政に取り組みます。
初心貫徹、即実行を信念に
努力・尽力致します。



いしかわ ひでお
石川 英男

新市発足にあたり、県北の
都市に相応しい商工業及
び農業酪農観光等を重視し
た行政活動に、尚一層の努
力精進を致す所存です。



とうせん ふじお
東泉 富士夫

那須塩原市の発展を目指し、
新市の議員として、決意も
新たに、市民の皆様のお役
に立てるよう、日々精進し
て参ります。



こいで こうじ
小出 孝二

先見性と行動力を生かし時
代に即応したスピーディー
な市政の運営と市民の夢で
ある公平・公正・対話による弱
者に思いやりの行政の実現。

福祉環境常任委員会



いん なみ かず こ
印南 一子

市議会を今までよりも住民の方々に身近に感じて欲しいので、市政報告を、議会の言葉で皆様に伝えたい。



おおばやし みゆき
大林 寛

平成大合併により那須塩原市が誕生した。私は常に議員の資質向上と本質を重んじ、市民の声を重視し教育・福祉に貢献する覚悟です。



たま の ひろし
玉野 宏

新時代の創造に向かい、世界の全てが変動を続けています。原点、人と自然が共に生き、循環持続可能な地域をつくりあげましょう。



副委員長
かめ たつ お
亀田 哲男

新市発足は喜ばしいが日々のニューズは暗く、その底に日本の劣化衰退が見える。新市運営はグローバルな眼で理性的に進めよう。



副委員長
きのした こうえい
木下 幸英

那須塩原市の誕生は次世代への第一歩です。古きよき歴史を共有し、その上に立つて新たな歴史を育もうではありませんか。



委員長
よし なり しん いち
吉成 伸一

新市誕生により、今まで以上に議員の責任は重くなりました。住みよい「まちづくり」に向けて全力で働いて参ります。



ひと み きくいち
人見 菊一

自然環境に恵まれた那須塩原市誕生のもと、一地域にこだわることなく、市民参加の活気溢るる街づくりを努力して参ります。



わかまつ ほるまさ
若松 東征

新しい那須塩原市の出発に、夢と希望が持て、又、市民の皆様が本場に那須塩原市で良かったと思える様に、全力を尽くします。



ふるやま ただし
古山 正

「人の行うべきかぎりを行うが人の道にして、このことの成ると成らざるとは人の力の及ばざるところぞ」期待に応え一生懸命頑張ります。



せきや のぶゆき
関谷 暢之

◆未来責任、地域発展に全力投球◆
○広域行政の連携強化、一体化の早期実現。
○生活者起点の行財政改革の推進。



ひらやま ひでし
平山 英

市民と共に那須塩原市を育て、次代を担う若者に夢と希望が持てるような生活環境の充実と教育福祉の推進、各産業の発展に努めます。



うすい かずみ
臼井 一巳

県内トップを切った、新市、自然に恵まれ、無限の発展を秘めた、那須塩原十一万市民の為、微力ながら頑張ろうと思っております。



まつむら のりお
松村 宣夫



副委員長
みと しげる
水戸 滋



副委員長
そうま はるお
相馬 春夫



委員長
さいとう としかず
齋藤 寿一



うえたけ しんいち
植竹 伸一



たなか さぶろう
田中 三郎

産業観光常任委員会

個人の権利を尊重し、明るい家庭を築き、那須塩原市の発展を目指し、日本人としての誇りを持ち、世界の人と共に歩む。

市民こそ主人公の立場を堅持して、行政のチェック機能を果たします。合併等の大問題は市民の合意を得て執行する住民主権の実現を！

記念すべき那須塩原市の誕生を迎えて、地域格差が生じないように都市と自然環境が調和し共生する未来あるまちづくりを目指したい。

爽やかで潤いのある産業観光事業を推進し、老人と子供の供達に優しい、那須塩原市の構築に努力いたします。

心易きを求めず
事難きを避けず
那須塩原市に
最善を尽くす

旧西那須野町同様コミュニティセンターを設置し各々の間で親交を深め波及させ一つとなり明るく住みよいまちづくりに邁進す。



しおばら あきひろ
塩澤 昭男



たにしろ よしのり
田代 芳寛



かき ま あつし
笠間 厚



えづれ ひでいち
江連 比出市



ひらやま けいこ
平山 啓子

那須塩原市の誕生、歴史の幕開けに参与した議員として信頼と協調理念の基、懸命に新市の発展、住民福祉の推進に努め尽くします。

健康で文化的な生活を営む権利、能力に依りてひとしく教育を受ける権利を認め日本国憲法の理解を基本に議員活動をいたします。

豊かな自然、無駄のない行政と住民の協働の中で調和のとれた那須塩原市をめざし住んでよかったと言える街づくりに取り組みたい。

新しい那須塩原市の住民の為に頑張ります。

元初の太陽と共に那須塩原市が誕生しました。重責に身の引きしまる思いです。初心に返り一生懸命働いてまいります。



副委員長
山本 幸治

☆気どらず・いばらず・迅速に
☆市の公約より一つの実行☆
☆市政の主役は皆さんです☆
☆みなさんの声を確実に市政
に反映させます。



委員長
室 正倫

「今日より明日は必ず良くなる」という進歩の思想を精神とし、夢のある郷土建設をめざします。



生田目 孝志

黒磯市民の幸せを願い活動して参りました長い歲月。その黒磯が地図から抹消される淋しさを乗り越えて新市発展に努めて参ります。



大島 昇

県北の中心都市にふさわしい、活気ある明るく住みやすい心豊かな那須塩原市づくりを市民の皆様とともに力を合せて努めます。



斎藤 和夫

素晴らしい市章が出来たと
思つて居ます。命のみならず
太陽をめぐり、全市民
の知恵と力を結集させたい
と考えて居ます。



高久 武男

那須塩原市が誕生し合併して
良かったと思える、明るい
活力ある街づくりの頑張り
ます。特に社会資本の整備
と福祉に力を入れます。

建設水道常任委員会



木村 清次

地域住民の皆様と共に、語り合いながら、安全安心の豊かな住みやすい新市を推進してまいります。



君島 一郎

合併による壁を造らず、新市建設計画の円滑な推進を図り、自然と調和のとれた福祉の街づくりを、全力で取り組んでいきます。



長浜 昭一

権力にこびず、
住民主体の市政実現。
へつらうことなく、



菊地 弘明

懸命頑張る所存です。
情熱”と”行動力”で市民
の皆様の代弁者として一生
住んでいて良かったといわ
れる新市づくりのため、



渡邊 穰

那須塩原市が県北の雄都とな
るべく、信頼と智慧、力を
併せ、夢と希望に燃えて
未来に躍進する新しい街づ
くりを目指してゆきます。

—那須塩原市議会だより—



おあた くみ こ
太田 久美子

地方自治は住民のくらしや福祉・教育を守ることであり、引きつづき、住民の代弁者として、身近な要求実現のために一生懸命頑張ります。



ふじた まさひろ
藤田 政徳

誠実、公正をモットーに市民の立場で政治活動をし、市民のため必要な施策の実現のために議員間の連携を考え行動したい。



うすい もと お
臼井 元夫

人口十一万五千人、県内一の面積を有する那須塩原市が誕生。決意を新たに、市民として全力投球で議員の責務を全うしたい。



なかむら よしたか
中村 芳隆

人と自然がふれあう、やすらぎのまち那須塩原のスポーツ・ガンのもと、若者が夢を保持する活力溢れるまちづくりを目指します。



そうま よしかず
相馬 義一

那須塩原市が、「新市建設計画」に基づき円滑に運営され、市民サービスの充実が図られていくかどうか、是非々々で臨みたい。



副委員長
いとう こうぞう
伊藤 甲三

一市二町の新市建設計画があるが、これにいか近づくか実行計画に注視し目標にむかっただものにした。



たげくま いちろう
武隈 一郎

信頼と協調を重んじ行政環境改革を進め生活環境教育計りこの地に住んでよかったと思える県北新市をつくる。



いそ としのり
磯 紀則

信頼と協調を礎に築き上げた那須塩原市、初心を忘れる事なく、小異を残しても大同につき、地域のさらなる発展に努力します。



ましこ しょうじ
益子 昌寿

合併にあたり、広範囲な行政の先頭に立ち、市民生活の環境面の推進と市民生活の治安維持、確立に全力で努める所存である。



そうとめ じゅんこ
早乙女 順子

課題を先送りした合併に行政は危機感がない。その行政活動を監視すると同時に立法機能強化のため政策提案能力の向上に努める。



かねこ てつや
金子 哲也

合併に際し、とかく忘れがちな地域の文化の維持と、市全体の文化の向上を目指す。躰や慣習をふまえた子供の教育に力をそそぐ。

各委員会・一部事務組合議会議員の構成

◎は委員長、○は副委員長

議会運営委員会

◎大 島 昇
○平 山 英
相 馬 義 一
藤 田 政 徳
江 連 比出市
小 出 孝 二夫
東 泉 富 士
君 島 一 郎
高 久 武 男
塩 澤 昭 男
山 本 幸 治
君 島 幸 三

議会だより 編集特別委員会

◎植 木 弘 行
○五味 潤 薫
玉 野 宏
山 本 はるひ
印 南 一 子
田 代 芳 寛
平 山 英 之
関 谷 暢 子
平 山 啓 子

国会等移転に 関する特別委員会

◎松 原 勇
○高 久 武 男
相 馬 義 一
中 村 芳 隆
五味 潤 薫
君 島 行 雄
水 戸 幸 滋
木 下 幸 英
岡 本 哲 次
金 子 正 一
古 山 菊 一
人 福 田 幸 治
福 儀 齋 紀 則
斎 藤 和 夫

那須地区広域行政 事務組合議会議員

君 島 行 雄
小 出 孝 二
岡 本 山 正
古 相 馬 司
人 見 菊 一

黒磯那須共同火葬場 組合議会議員

室 井 俊 吾
岡 本 栄 次
石 川 英 男

黒磯那須公設地方卸売 市場事務組合議会議員

相 馬 義 一
室 正 倫
高 久 武 男
人 見 菊 一
渡 邊 穰

黒磯那須消防組合 議会議員

田 中 恂
室 井 俊 吾
鈴 木 一 美
岡 本 栄 次
石 川 英 男

大田原地区広域消防 組合議会議員

植 木 弘 行
笠 間 厚
古 山 正
相 馬 司

編集後記

那須塩原市誕生おめでとうございます。

今号は、新市の議会組織、委員会構成と各市議会議員の抱負を中心に編集いたしました。議員61名は、在任特例により平成17年4月30日までの任期となっております。

議会だより編集特別委員会も、編集委員9人のもとで、「読みやすく、親しみやすい紙面づくり」に視点を置き、議会活動の様子を公正・公平な立場でお伝えすべく、協力し合い活動してまいりたいと考えています。

市民の皆様には、今後とも議会活動にご理解とご協力をお願い申し上げ、編集後記といたします。

(委員長 植木弘行)

議会を傍聴しましょう。

定例会は、
3月、6月、9月、12月
に開催されます。

3月定例会は、

3月4日

開会予定です。



♣読みやすく、親しみやすい紙面づくりのために、ぜひご意見をお聞かせ下さい。

♣議会だよりに関するお問い合わせ・ご意見は議会事務局まで。

【Eメールアドレス】gikai@city.nasushiobara.lg.jp ☎0287(62)7181